不徳のギルド
3
河添太一
ふとくのギルド
Futoku no Guild
presented by
Taichi Kawazoe

不徳のギルド
河添太一
03
Futoku no Guild
presented by
Taichi Kawazoe

不徳のギルド
03
Futoku no Guild
presented by
Taichi Kawazoe
河添太一

何なんだ
アイツ…
冗談じゃ
ねぇぞ!

ハアツ
ハアツ
ハアツ

ハアツ
ハアツ

とにかく
今は一旦
街に
戻るんだ!
クソ…
…仲間と
はぐれたまま
だってのに…!

あんな…

あんな
化け物…
どうやって
倒せってん
だよ…!!

第13話「ムリゲー」

この「ヨケグモ」…
想像していたよりかなり大型だ
人よりも大きいわね…
きのう森の探索中に発見されたの
ヨケグモ？
相手の敵意や殺気を感知できる魔物でな
とにかく攻撃を避けまくる

そうだ

だから戦士みたいな
前衛職だと
接近する段階で
敵意がバレちまうっ…

前衛だと
勘付かれて
不利…
もしかして
私が招集
受けたのってテ…

……
エ……

本来は
体長30cm前後で
小動物を狩る
魔物なんだが
この巨体じゃ
捕食対象も
大きくなる…か
ねぇ
ちょっと
ダンナ…

ただでさえ
攻撃が
当たらねぇ
ってのに
一噛みで
アウトの猛毒…
鉄より強靭な糸…
その上 地力も高いと
来やがる…！

て…敵に
回すと
あぁも
恐ろしい
とは…っ!!
ガタ
ガタ
エ〜〜〜…

キクル
君…
勝算は
ある
かしら…

特殊能力が
ある分
厄介な敵では
ありますが…
…でも

誰かが
やるしかない
でしょう
待って私
こんな子供の考えた
最強モンスター
みたいな奴と
戦いたくないゾ

そうだ
やめとけ
アンタにゃ
無理だ！

奴の感知能力は
他のヨケグモより
範囲が広い
弓の射程
からでも
気付かれる！

大体よぉ…
「エース」っつっても
物陰からちまちま
小物狩り続けた
結果の
「討伐数トップ」
だろ？
こういう
大物相手は
向いてねぇよ
引っ込ん
でろ！

アンタも
回避に
関しちゃ
一級品だと
聞いているが
モノが違う！
筋力も能力も
奴に勝てる
部分なんて
一つもないだろ
調子に
乗るな！

……

言葉のナイフは避けられないという事を知ってほしい…

うちのエースメンタルの方弱いんで止めてもらえまス？

なるほど…状況は把握した

そのパーティーから出た落伍者がまだ森に残されているので
私達はその者の救助へ向かえば良いのだな？

あぁ
今回の魔物は前衛職のお前達では相性が悪い
それに人命救助も重要だからな

ひたむきは魔物を避けつつガードの捜索を

メイデナはガードが負傷していた場合の回復を

ハナバタは緊急時の護衛役を頼む

うん
了解した
ひたむきに頑張ります！
……

理想的な役割分担ができた筈だ
…できた筈なのに…

わうううううっ
ビクッ
ビクッ
あわわわわわわわ…
めいへな〜…
フルで行くのら――っ!!!
ガクンッ
ギチッ
ミチッ
理想通り事が運ぶイメージが…湧かない
……

ハナバタ…お前がしっかりするんだ…！
くれぐれも狂花は使うなよ？
こ……心得たっ…
……
そわ
そわ
そわ
そわ
そんなに不安なら一緒に行動すればいいのニ
それでもこっちよりは安全だからな…
新人4人抱えての戦闘は流石に負担が大きい

私も
救助組が
よかったゾー

力が強くテ
どんな攻撃も
避けテ
猛毒持ってテ
糸で罠張る
トリッキーさも
併せ持ツ…

微塵も
役に立てる気
しないゾー…
諦める前に
少しは考えを
巡らせろ

奴が正確に
攻撃を避ける
事ができるのは
体のどこに
意識を向けられて
いるのかまで
感じ取れるからだ

であれば　お前の「自分でもどこに当たるか分からない無差別大火力」は
相手の思考に依存しているヨケグモにとって脅威になる
……
まじカ
戦闘センスのなさが輝く日が来るなんテ…
あとは「巻狩」の要領で周囲から追いつめていくとかな

奴の「周り」を炎で囲めば逃げ道を塞げるだろ

直接標的にする訳ではないので敵意を読まれる心配もない

おオ〜〜〜

カタログスペックに惑わされるな

やりようはいくらでもある

ダンナってエースの割にいまいちパッとしないシ

ザクッ

大して強そうな感じもしないけド

ザクッ

伊達にエース張ってないナー

そのふわっとした賛辞一つの為に二度傷付けるのやめてくれない？

褒めるなら純度100%で褒めてくれ

わうううう
ううううっ!!!
ひたむきぃ——っ!!!
何してるのよ
もぉっ!
「近くに魔物は
いないけど
至る所に巣が張って
あるから気を付けて」
って……

ひたむきが言ったんじゃん！
何で自分が引っかかっちゃうのっ⁉
ごめんなさいぃぃ…
引っぱってあげるから手ぇ出して！
え？
め…メデちゃん手を放してくださいっ…
えっ？
ギチ
ギチ
待ってくれメイデナ！
クモの糸は強度も伸縮性も高くてっ…

きゃんっ
ぐわんっ
わぷっ
…って
私もぉ!?

くっ…はがせ…ないっ…
ムニュ
ムニュ
はうっ
メ…メデちゃん…
あまり動かないでくだ……あっ
そんな事言ったって…この状況どうにかしないとっ…
ひゃんっ
ビクッ
ひたむきも…小刻みに震えるの…やめ…てっ…
すみま…せ…でもっ…おさえ…られ
フニッ
ちょっやっ…
はあっ
んうっ
きゃん
ふあああああっ

あっ
ハァッ
ハァッ
んっ
ビクンッ
ハァッ
あっ
ハァッ
ガクッ
ガクッ
ハァ
ハァッ

ま……
魔物が絡んでいないというのに……！
むっ
むっ
びくっ
びくっ

私が……
私がしっかりしなくてはっ…

少し熱いと思うが…
ボッ
糸を燃やすのでジッとしていてくれ……

ブオオオオオ

おォ〜…

私の炎魔法なら巣の対処もできるのカ

鉄の強度を超えると言われるクモの糸も
その主成分はタンパク質だからな

俺がお前を選出した意味が分かったろ
おォー…

…そろそろひたむきが嗅ぎ当てたポイントに着く
流れとしてはさっき話した通りだ

俺が引き付けて囮になる

トキシッコはその間に奴の周囲を炎で囲め

ズガァァッ!
!!!

ウワっ
万が一あいつらの方に行かれたらと不安だったが…
片っ端から巣を焼いて挑発した甲斐があったな
ザッ

!
トキシッコ
作戦通り
行くぞ
奴を
意識するな
周りを
燃やせ!
う…
うン!
シャッ
ブォン
ヒュ

わ……
わ……
こんなノ…ヨケグモの周りだけ狙うなんテ…ムリゲー

……
ブンッ
ドスッ
ガッ

トキシッコ
俺ごと閉じ込めて構わない!

分かっタ!
少しは躊躇え

……
炎魔法…

ゾワ
あっ……っ。

〝イグニト〟
ゴ!!
オ
ン
。
!?
呪文の詠唱よりも前に回避を…!

う…
ダンナ…ごめン…
人間サイズの毒グモ見て意識するなというのが無理な話だ…
………
そういう事か…
「奴を罠に嵌める」という敵意を読み取られた
別の作戦でもう一度…

えっ？

ドス
!!!

ダっ…
ダンナから離れロぉ!!
〝イグニラ〟
ゴォォォォォォ!!
パチ
パチ
パチッ
ハァ
ハァ
ハァ
ハァ
ハァ…
…アっ

ダンナしっかりしテ!
ヨケグモは逃げてったゾ!?
……
…薄々…自覚していた……
甘えた事言うな
俺は吐いても立たされる訓練を10歳からしてた
俺には…自分の基準を相手に押し付けてしまう悪癖がある
何度も自信のない発言をしていたのに…
俺の基準で話を進めてしまった…
ダンナ
ダンナぁ
さて…この状況
どうしたものか……
つづく▼

トキシッコ・ダナー

装備(そうび)：
スロウスタート
(戦闘(せんとう)よりも歩(ある)き疲(つか)れた時(とき)の
足(あし)代わりにされる事(こと)の方(ほう)が多(おお)い)

ほらせーノっ

何でやねン

言った事ねえよ

うぅ…
死んだりしたら
許さない
からナぁ

もし死んだら
「ダンナに乱暴
されタ」って
吹聴してヤルぅ…
!!?

無理矢理
お酒を
飲まされテ
押し倒された
ってテ…
どうダ!?
死んでも
死にきれない
だロ!!

な…
何で
やねえん!!!

第14話「ミントアイス」

ハァ
ハァ
死にかけの人間に鞭打つとか…
鬼か貴様……っ
俺の晩節を汚すんじゃねぇよ……！
一発アウトの猛毒なのニ…
ダンナ平気なノ!?
奴に噛まれる寸前
ギリ…
予め歯に仕込んでおいた解毒剤を服用した
ヒーラーがいないんだ…
何の準備もなしに挑みはしない
お前の分もある
おぉ…
さすがダンナ…

しかし
想定以上に
強力な毒
みたいだ…
ハァ…
ハァ…
熱も痺れも…
抜けきって
いない…

つつつ
だったら
今日はもう
街に戻ろうョ

いや…
今日の内に
決着を
付けて
おきたい…
エ〜〜〜〜……

ここに来る
までの間…
魔物を
見なかったろ
うン

皆ヨケグモを
恐れて住処を
移したんだと
思う

では…
森を追われた
魔物は
どこへ行く？

そして獲物のいなくなったあのヨケグモは
どこへ行く？
……
……街
事態は次の段階まで進んでる…
一刻も早くカタを付けるべきだ…
でもその体じゃ無理だってテ…！
……
10分…
10分で復帰する……

氷魔法(こおりまほう)…

“ゴルドラ”

!?

これならもしアイツが来ても少しは壁になるだロ

あと周りから見られないシ……

どんな結果になってモ

気まずくなるなヨ？

ト…
トキさん…？
一体ナニを…

「呪名」

人名そのものが呪文の役割を果たすという希少な例

その人間は名前が持つ言霊の加護を受ける事ができる

なるほど…
お前が病気にかかった事がないのはそれが理由か…
ト・トキシッコさんのお薬手帳見ましたけどすごいですね!?
今まで一度も病気になられた事がないなんてっ

つまりサ…

「毒を以て毒を制すル」

私と接触したり私の体液を傷に流し込む事デ…そノ…

ダンナの体内から毒ヲ……
抜く事ができル…かもしれなイ…
……
…頼む
……
お…おォ…
イイ体…

ダンナのココ…

がちがちデ…
たくましくっテ…

すごく硬イ…
ちょっと感想述べるのやめようか紛らわしいから

……

くちゅ
ちゅむ
ちゅっ
むちゅ
ハッ
ハァ
ハッ
んむっ
茶化されるくらいが丁度よかったのかもしれない…
……
黙ってされると音だけが際立って……
ちゅっ
ハッ
しゅる
ちゅる
ぴちゃっ
しゅるる
ハッ
却って妙な気分に……っ
!?
コチン

……
……こっちの毒抜きは専門外だゾ
にや にや
うるさいよ
どう？少しは楽になッタ？
正直……まだこれといった変化は…
一部が元気になっただケ？
頼むからその件で弄るのやめて

…じゃア
「中」から試すカ…
!?
キ…キスは恥ずかしいから…
ここからダンナの口に唾液ヲ…
垂らすナ…?
そのままノドに流し込むんだゾ!?
味とか見ちゃダメだゾ!?
あ…あぁ…
ン…
今朝歯磨きしてから何も食べてないし多分ヘイキ…
あぁでもガムとか噛んどけばよかっタ…

……
トキシッコ
…これ…
トロー……
キスより恥(は)ずかしくないか…？
こくっ

……
微かにミントの味がした…
……
……動く
……
熱も引いた…
ダンナっ…毒が抜け…
ぽふんっ
!
ありがとう
お前のおかげで助かったよ
……

「毒無効ならコイツかばう必要なかったな」と若干後悔していたが…
これでプラマイゼロだな
ダンナがモテない理由分かった気がすル

だっテ…「毒」が由来の名前なんだゾ
もし話して引かれたらヤじゃないカ…
私だって一応女子なんダ…

デ？問題はここからだゾ
どうやってあのヨケグモを倒ス？

直接本体を狙わなくても
「罠に嵌める」といった間接的な敵意にも反応する…
つまり罠は人の意志が関与しない設置型に限るという訳だ

付いて来て欲しい場所がある

小屋？
避難所だ

まさかダンナ…

さっきのムラムラが治まらないからって私とワンナイトラブするつもりか…？

あと何回その件ネタにしたらお前は飽きてくれる？

魔除けを施してるとはいえ魔物の巣窟で寝泊まりする人間は滅多にいない

この避難所は罠として使用する

ここを罠ニ…

狭い場所なら攻撃を読めても逃げ場がなイ

そっカ!

だから
ダンナが小屋に
ヨケグモを
おびき寄せテ

私が
火を
放ツ！
ねぇそれ
中に
俺いない!?

ダンナの事は
尊い犠牲として
後世まで
語り継ぐヨ
俺は末代まで
お前を
呪ってやるよ

まぁ火を使うには使うが…そうじゃない
第一あのヨケグモじゃここを通れないだろ…
目的は別にある
……
ガチャ
…ドアは鉄扉
……
家具や床は木製…
……
石造り
作戦前に倒壊する心配はなさそうだな

窓は1枚の
内倒し…
大きさは問題
ないと思う

そして
南向き…
……
これが
俺の
命綱か…

……

よし
ド
ガ
ダンナあ!?

何が
良シ!?
魔除け
壊したら
ギルドから
怒られるゾ!
だって
それあると
ヨケグモ
来ないだろ
ガ

た…たしかニ…でモ…
それに今からもっと怒られる事するんだぞ？
エ？

トキシッコ

この小屋燃やしてくれ

……
エ？
ゴトッ
つづく▼

一方その頃…

大勢で周りから攻めればヨケグモは倒せるかもしれないけど、誰か一人でも攻撃を意識したらそこから崩されて犠牲者が出ちゃう。
だからパパは少人数で討伐に向かったんだよっ！
多くの凡人より一人の天才って事だねっ！

第15話「完全燃焼」

ズガァアアアン
片や厄介な火力を持った黒魔術師
片や既に1発浴びせている手負いの狩人
二手に分かれれば…そりゃ俺の方を狙うよな

後は…避難所までコイツから逃げ切らないといけないのか…

腹に穴空けた状態で…

浄化魔法…
パァァァァァ
…！
〝ピュリフル〟
……
…治った…
！
毒が抜けましたっ

ありがとう…
ボクも白魔法は扱えるんだけど…
ボクの浄化魔法では解毒しきれなくて…
久々にまともな活躍した気がする…
ここで身を潜めて助けを待つ事しかできなかったんだ…
発見できたのはひたむきのおかげだな
えへへ…
ボクのせいで君達を危険な目に遭わせてしまい……本当にごめんなさい…
いえっ…そんな…
ここまでの道中がどれだけ過酷なものだったか…

二人の姿を見れば想像に難くないよ
っ!!!
ボッ
糸を燃やすのでジッとしていてくれ
……っ
イヤぁ!服が燃えちゃう!
メイデナ暴れないでくれっ!

ぐすっ
ふえええん あついの ヤダよぉぉ おおっ
な…泣かないで…
えぐ…
わうううっ メデちゃんの分も ひたむきを焼いて下さいっ
びくっ
おっ
びくっ
ふぎゅ
ひたむき そういう問題じゃないからっ！
びくん

ヨケグモと戦う上で最も厄介なのは

「毒」や「糸」…「筋力」や「感知」といった能力面でなく

その能力の「全容」を知らないという「情報」の少なさかもしれない

通常のヨケグモは体長30㎝前後の「小型の魔物を狩る魔物」で

半ば益虫のような存在

多くのガードが戦闘を視野に入れて来なかった

奴は直接体を狙った攻撃だけでなく

周囲を炎で囲むという間接的な敵意にも反応した

現に俺は
奴を罠に嵌める
事を目的として
走っているが
反応はない

回避する
素振りなし

おそらく
ノールックでなら
一撃入れる事も
可能だろうが
狙いを
付けられない上に
俺の力では
決定力に欠ける
何より
半端に
刺激した結果
警戒され
逃げに
徹されたら
最悪だ

ダッ!!
ハァッ
ハァッ
ハァ
ハァ…
……
奴への攻撃は…
「初撃」が「止め」に繋がらなくてはいけない
……
どうでもいいけど…
俺パルクールの素質あるかもな…

……

ドドドドド…
来タっ

もうゴールしたい…
ダンナ…っ

トキシッコは
俺が
戻って来たら
目を閉じて
上級呪文を
撃つ準備だけ
しておいてくれ
魔除けを
配置しとくから
安心しろ
この中にいれば
魔物に襲われる
事はない
ごく
ごく
ねェ
これ
トイレ行きたく
なったら
どうするノ？
そこで
済ませろ
……
早く
戻って
来てナ？

……マナボトル飲まなきゃよかったゾ
トイレって行けないと分かった途端意識しちゃうんだよナー…
ただでさえ私際どい名前してるのにおもらしとかマジでシャレになんないゾ
もじもじ
ダンナ早いとこケリつけテ…

ハァッ
ハァッ
ハァッ
ハァッ

あっ……
……っ……

失血で意識が
朦朧と
してきたが…
追い込まれる
演技には
真実味が
生まれたかな

…さぁ…
最終工程…
あと
一撃…
あと一撃
躱せば……

奴を視界に入れる事はできない
回避の要は…
影——…

ボバーーァァァァーーッ!!
「バックドラフト」
…!!?

密室で火災が発生すると酸素が給気されず可燃物を残したまま次第に火は弱まる
しかしこの「不完全燃焼」によって生まれた大量の一酸化炭素に新たな酸素が送り込まれると
急速な結び付きから大爆発を起こす
肉焼いたり家燃やしたり！
私の魔法って何なんだろナ
肉はお前のせいだろ
〜30分前〜
これ自体は決定打にならない
…が
敵意に対処できない
隙が生じた！

ザッ!!

計3本…… 厄介な機動力は削いだ……!

ぐっ…

ゴホッ

今だ!! やれ!!!

〝イグニガ〟
ちょ…

!
…!!
ゴォォォォォォォォォォォォ
……
許さん
ぬわァァアアアアっ
お前もかよ!!

服以外ハ…

!!

ねぇコレ帰りどうしよウ

……

俺の上着があるから貸してやる
それより…これ以上動けそうにないんだ…
悪いが服着るついでにケータイで助けを…
っ!?

私が歩けるようになるまデ

このまんまだナ？

すごくカッコ良かったゾ？
ダンナ・様♡
……………!!!
ぶるっ
アッ…
んっ…ヤバ…っ
どうしヨ……
え!?おいどうした！

おしっこ我慢してたの忘れてタ…

むぎゅ

待てコラ

……
昼……

……
疲れが抜けてない……

ヨケグモから受けた傷…
解毒はできても傷口はそのままだった

昨日はその状態で無茶をしすぎた…
ピンポーン
!

こっ…
こんにちはっ
ひたむき
ひたむき……
一体どうしたんだ?
えっと…
キッくん昨日はとても頑張って
今日はとてもお疲れだと思ったので…
ひたむき
身の回りのお世話をさせてもらいに来ました!

第16話「ありがとう」
ひたむき

…うん
相変わらず旨いな

わざわざすまない
起きたばかりで食事はまだだから助かったよ

そんな…
今のひたむきにはこれぐらいしかできないので…

料理をできるのが凄いんだがな
ズズ…
来たのが他の3人だったら再度深い眠りに就いてたぞ…
しょゆーん
こげっそぉ
ねちょばだーら

その…
傷の方は大丈夫ですか？
あぁ…
あの後メイデナに治して貰ったからな
無茶した分の疲労はあるが傷自体は跡形も残っていない
命に関わる大ケガをしたと聞いたので…
無事で良かったです
そういえばトキちゃんがお手柄の事を気にしていましたよ？
ヨケグモの討伐者が本当に自分でよかったのか…って…

構わない

最終的に
仕留めたのは
アイツだからな

何より
俺は
辞めようと
してる身
いま下手に
評価されたら
抜けづらくなる
功績なんて
ただの重荷
でしかない

功績が…
重荷……
トポ
トポ

……

キッくん!!

ん!!?

買い物って…
ひたむき何か欲しい物でもあるのか？
え!?えっと…
お夕食の材料とかっ
夜もひたむきに作らせてくださいっ！
おっ？
それはまぁ…助かるが…

ひたむきちゃん
ラッシャイ！
ペシッ！
八百屋さん
こんにちは――っ！

ひたむきちゃん
夕飯の買い出しかい？
後で肉屋にも寄ってくれよ
はいっ
……
ひたむきちゃん
この前はシチューのおすそ分けありがとう
いえいえっ

お前って最近メブキに越して来たんだよな？
ひたむき

そうですっ
もうすぐ一か月になります
ひたむき

…俺はこの街に来て10年経つが
住民と談笑した事など一度もない
この馴染みよう…

良いゴーヤが入ったんだサービスで付けてやるよ！
おまけまで貰えるのか…
わううっありがとうございますっ
どうだいひたむきちゃん
まだ旬には早いが中々良いツブしてんだろぉ
本当ですっ
ハア…
ハア…
りょ…料理に使ってもいいし…
つん
つん

別の用途でもきっと…ヨくなると思うんだぁ…
ビクッ
ビクッ
ビクンッ
はぅっ
くぅん
八百屋さんの…大きくて…んっ…太くて…
ゴツゴツ…で…気持ちいいですぅ……
がくっ
くちゅっ
むちゃっ
ぬっちゃ
がくっ
その場合は返品可だよ
別の用途？
ついでにセクハラも受けてる…!!!

おい
ひたむき
この人達から
妙な事
されてない
だろうな…？
みょう？

たまに
難しいお話も
されますけど
とても
優しくて
良い人達
ですよ？
肉屋
服屋
ま…また一段と
実ったんじゃ
ないか…？
俺の肉でもっと…
彼女の肉を
育てたい…！
ひたむきちゃんは
もう1サイズ
下のブルマで
そのハミ肉に
磨きをかける
べき…
初見でも
伝わる
ゲスさ…!!!

キッくん
も…その…
親睦を
深めてみては
いかが
でしょうっ？
ひたむき
お前
今日はやけに
押しが強いな…
……？

兄ちゃん
さ

ひたむき
ちゃんの…

何？

親睦深める
どころか
溝深まってるん
ですけど

待ってください！

キッくんはこの街のエースで…

ひたむき

ひたむきがとてもお世話になっているスゴイ方なんです！

へー！

てっきりひたむきちゃんを不純な目で見る変態野郎かと

おい お前

悪い事したな…

この街のエースは雑誌にもテレビにも出ないからよぉ

いつも街の為にありがとよ！

双子ちゃん達！

きゃっ
おねえちゃんあそぼーっ
で…でも…
…俺は構わない少し休む
すみません…近所のお子さんでたまにヒーローごっこをしてるんです
ヒーローごっこ？
はいっ
ひたむきは悪の女幹部役です！
すごく良い子そう
ひたむき
おんなかんぶかくごー!!
ずるっ
わっ

いたい！
大丈夫ですか⁉
ぐすっ
ふえぇ…
いたいよぉ〜〜〜〜
おねぇちゃ〜〜〜ん
傷にはなっていないので安心してください
痛くない痛くないです

え〜〜〜〜ん
ひゃ!?
もみ
もみ
んっ
あのガキ…まさか…
あの…んっ
そんなエッチなところ…
さわっちゃいけません……っ
「えっち」ってなーに?
えっ!?
ぼく無垢だからわかんないよ
無垢な人間からは絶対聞けない台詞

と…とりあえずおっぱいから手を離して
がくんっ
くだっ
ひたむき
えっ!?
なっ…
ギチ…
縄跳びが足にっ!?

おんなかんぶ かくほー!!
そん なぁ~~~
せいぎは かつ!!
手段が 悪!!

わうう うう…
悔しいですけど ひたむきの 負けですね
降参で…

す…

えええええ えええええ!!?

きゃんっ!
ど…
どうして…っ
もち
もち
ひたむき…
もう
降参って…
もち
もち
やっ
我が国は
反逆者に対し
手心を
加えない
えっ?
ぴゅっ
生殺与奪の
権は我々が
握っている
ええ!?

むにゅ
ひゃんっ
いつもは…こんな事しないのに…っ
ふにっ
きょとん
「こんな事」ってなーに？
都合が悪いと都合よく無垢になる
わうっ⁉
ドピュッ
ひたむき

あんっ
二人とも何を…あっ
やめっ…つめたいですっ
わぷっ
んにゅっ
はぅぅぅ…ちから…はいらな…
んぅぅぅ
ドピュッ
ドピュッ
ビュッ
ひたむき
ビュッ
びくっ
がくっ
がくんっ
やっあんっ
ぴちゃっ
たぷっ
ダメ…そんなトコ…
きゃんっ
ぴちゃっ
たぷっ

……
どぴゅっ
どぴゅっ
んああああっ
らめえええええっ
ビクッビクッ
ぷあ…
もう…ゆるひてくらふぁい…
何というかこれはもう…
本日の魔物枠!!!
手を下せない分魔物より質が悪い…!

ガキに言いたい事は山程あるが…
ぴくっ
ぴくっ
はあっ
んっ
お前も負けるなよ
がくんっ
がくんっ
ぐすん…
わうううう……
初めて会った時のあの子達は……
こんな事をする子じゃなかったんです…

何があの子達を変えてしまったのでしょう…

多分お前

お前と出会うまでは普通だったんだろ？

ならお前だよ

やはり情操教育に悪い…

キックんに……
キックんが守ったものを知っていただきたかったんです
俺が守ったもの？
キックんはガードのお仕事を辞めたいと思ってますよね？
それを止めようとも
止められるとも
ひたむきは思ってません
でも…
できるなら明るい気持ちで辞めてほしいんです

街の皆さんの生活を……

笑顔を

キッくんは守ってきたのだと…

それはとても素晴らしい事なのだと誇ってほしいんです

……今日

初めて街の人達から「ありがとう」と言われた

別に彼らがガードを軽視していた訳じゃない

俺が他人と対話をしようとして来なかった

自分から歩み寄ろうともせず

独りでいる事に不平を感じ不満を漏らし

場所を変えれば報われると幻想を抱いて…

ぽふんっ

!?

……

心配掛けてすまなかった…

あと…

ありがとう

……!

はいっ

街の……
ぐへへ
ぐへへ
ぐへへ
笑顔……

ところでお夕飯のおかず…何かご希望はありますか？
…
…ハム
うふふっ
キッくんは本当にハムがお好きなんですね？
…
もぐ
もぐ

…ふう

主な「あいつら」

あいつらに
出会ってからというもの
前に出る機会が
激増したからな…

久々に
弓を使ってる
気がする

弓は射線に
入られそうで
怖い…

……

討伐開始から既に10体…

さすがはあのヨケグモを倒したガード…

この手際の良さはとても真似できないけど…
何とか自分なりに物にしないと…
赤魔術師
ノマ・ルーン

第17話「金のタマゴ」

そもそも勉強したいと言うが

ノマには二人のパーティーメンバーがいただろう

ヨケグモは相性が悪かっただけで彼らは俺よりガード歴の長い熟練者だぞ

くんくん

ぴょこぴょこ

うん…

でもあの二人はメブキの街を出て行ってしまったから…

ボクを置いて帰還した事と

侮っていたキクルにヨケグモを倒された事が悔しかったみたいで…

ノマ！俺達は必ずあいつより強くなって…

いつかお前を守れる男になって帰って来る！

修業の旅に出て行ってしまったんだ

また…

この街からガードが減ってしまった…

嫌がらせかよ…

何故だ！
何故皆引き継ぎを考えない！
何故自分本位に行動する！

この世界は！
真面目に生きてる人間が常に割を食うのか！

キ…キッくん
ひたむきはこの街で頑張るので安心して下さい！

うっ…うーん！
それはっ…それで…!!

ひたむきの索敵能力はすごいね
先手を取れるからクエストでの事故率がうんと減るよ
お役に立ててうれしいです！
今も地中からカオダイショウさんの這う音が聞こえてくるので気を付けて下さいっ
うんっ…
ボゴッ
きゃん!!
ええ!?分かってたのにどうして!!?
そいつ自分への注意力は皆無だから

やっ…んっ
ああっ！
ビクッ
じゅぷうううっ
ビク
はなれてくだっ…
わううううううっ
！
もう片方の頭も…！
シュルルルル
アレ密着してるから斬るのに神経使うんだよな…
んっ…
変温動物なら…
寒さに弱いはず…！
ス…
氷魔法…

〝ゴルドス〟
パキパキパキ
!
シャ・・・
ヘナ・・・
シャアアアアア・・・
キクル
止めを!
あ・・・
あぁ!

ハア…
ハア…
ハア…
ザシッ
ありがとう…
また助けられてしまったね…
咄嗟の氷魔法は良い判断だったぞ
くぅうん…
すみません…
ノマちゃんは白と黒両方の魔法が使えるんですね？
すごいですっ

そんな…どちらも上級呪文は覚えられないし
効果も本職には劣る中途半端な能力だよ

一撃で敵を倒せる事は少ないから
今みたく止めを味方に頼ってしまう…

つまり…
突出した能力のなさがお前の欠点という訳か
……

うん…だからもっと強くならないと…
違う

弱いな
びくっ

「欠点」として弱いと言っている

魔物に遭う度腰を抜かして置き物と化したり

狙いの定まらない魔法で無差別攻撃かましたり

我を忘れて暴走し味方を殺しかけたり

闇雲に突っ込んで魔物に毎回蹂躙される

これらのような事を指すんだよ

その人達は本当にガードなのかい!?

どうなんだひたむき

ガードですぅぅぅ

ボク…前のパーティーでは全然仕事を任せてもらえなかったから…
ノマ！もっと後ろに下がって！
ノマ！俺から離れるなよ!!
えっ？
えぇ!?
でも…少し嬉しいな
こんなボクを一人のガードとして見てくれてありがとう
う…うむ…
仕事をさせなかったのは単に過保護なだけだったと思うぞ
少し自己評価が低い所もあるが
ノマは自分の弱点を理解している

理解しているからこそ思考し慎重になる
ひたむきの呼吸が整うまでもう少し休んでいこう
ノマの戦い方は俺と似ているな…
……
似ている…？
今まで抱いた事のない安心感は…
何だ…この…

そう…あいつは無茶をしない
ひたむきどこかケガはない？
取り乱さず常に一番重要な「生還」を視野に入れて動いている
大丈夫ですっ
何というストレスフリー！
器用貧乏がどうした俺にとっては一点特化型よりよほど有り難いぞ…！
索敵特化
回復特化
魔攻特化
物攻特化

というかこっちは
新人の面倒
4人も見てるのに
なぜノマだけ
来なかったんだ

5分の4で
すり抜けるって
どういう事だよ！

ノマの容姿や
物腰の
柔らかさは…

うふふっ

どこか
エノメさんを
思わせる…

いや本当
これは
加点要素
とかでは
ないのだけれど

〜心休まる討伐ライフ〜

仮に…そう仮の話だが

ノマとのクエストなら続けて行くのも悪くない…と思っている自分がいる

俺の取り戻したい青春は

もしかするとここにあるのか…？

キクルは戦い通しだけど大丈夫？

すんっ

別にこのくらい何ともねーしっ…

べっ

心なしか俺の受け答えにも男子中学生の様な初々しさが生まれている

街を出て行かれたお二人の理由がノマちゃんを守る為の修業だなんて
とても大切に思われているんですね？

あはは…
まぁ…
男としては守ると言われても複雑なんだけどね…

ザァァァァァ

♂

お…
男の子？

やっぱり
間違われて
たんだね…

少し
おかしいと
思ってたんだ

ごっ…
ごめんなさい
ちゃん付けで
呼んでしまって…

ううん
仕方ないよ

ボク
声が
高いから

え!?…
え〜…と
声だけ…
ですか…？

……

いや…
まぁ…

そんな気はしてたし
一人称「ボク」だったろ
？
キッくん……？
周囲を見て来る
大体男だったら何なんだよ
タ…
タ…
別にここで恋愛したい訳じゃないし俺の目標はキャンパスで青春を取り戻す事だし
そもそもノマに対してそういう感情抱いてないし…え？さっき妙な妄想してた？
ダッ
ダッ
ダッ
それは他の4人と比べて仕事がしやすそうだなと思っただけだから

勘違い…

しないでほしい!!

ズザァァァァァァ

ハァ ハァ ハァ

……

……

男かぁ……

んっ

捕まってしまいましたぁぁ…

……！

デカイムが
あらわれた！▼

やうっそこ…
ちゅうちゅう
らめですぅっ
ひたむき…
お乳なんて
出ないのに…っ
ひうっ
ちゅうううううう
じゅるっ
じゅわっ
あぁん
やめっ
しみゅっ
んぐっ
んむ…
んっ!
むっちゅ
ぬっちゅ

にゅるるるるるるっ

んむ!?

んぎゅ

ふうっ

んぅぅ

ヨケグモ以外の
魔物と
接触するのは
今日が
初めてだけど…

ふっ!?
攻撃方法がこんなにもいやらしかったなんて…!
ビクッ
ビクッ
んんっ
んっ…
んうう!
ぬらんかー
ググ…
外に逃れようとすると…
ぐわんっ
ぬっぽ
ぐっぽ
ううっ
強い力で引き戻される…!
…なら
この引き込む力を利用して逆に中まで潜れれば…っ

ハァッ…
ハァッ…
んっ？
あっ
また…
いつもの
流れに…
何とか
しないと
いけない…
のにっ…
きゅうっ
ビクンッ
ガクッ
ビクッ
どうして…
力が
抜けて…っ
じゅぷっ
ぱちゅっ
ちゅぽんっ
ちゅぽんっ
ガクンッ
ぬらっ
はうっ
ドパァン！！

仕留めはしたが…

ノマの姿が見えない…
一体どこへ…

はあ

はあ

!!

ハア…

ハア

ハア…

ハア…

ぴく

ん

ぴく…

……

男かぁ……

…じゃなかった!
おいノマ!無事か!?
うん…

……まさか…
体内まで潜って握り潰したのか?

取り込まれてる事を逆手に取れないかと思って…

でもひたむきには索敵能力が

だったら逆も言えるだろ

え?

ノマはひたむきにはできない討伐ができた

!

その機転の良さを
少しは自分を
認める事に
使ってやれ

会ったばかりの
俺が気付ける
くらいには

お前の長所は
挙げるのに
苦労しないぞ

……

ボクは…
周りの足を
引っ張るまいと
するあまり
早く強くなろうと
焦っていたんだ

でも
単純な力
だけじゃなく
誰かと
協力し合ったり
考えを巡らせるのも
強さの形
なんだよね

ただ…
それに
気付いた所で
一つ問題が
あって……
?

ボクには
その…
協力し合える
仲間が
いなくて…

たまにで
いいから
また同行して…
ご教授頂け…
ないでしょうか

キクル…
いえ…
師匠

ごっ…ごめん図々しかったよねっ…
……

…俺の指導は厳しいぞ
わーいっ
ノマちゃん…くん！これからもよろしくお願いします！
えっ？

来る者拒まずの精神なだけなので
勘違いしないでほしい

つづく▼

奇跡の子

妖精族は男女で外見の差が少ないから
ボクが女性に見えてしまうのも無理はないかも
んー…
といってもノマは流石に……

たしかにボクは他の男性より
丸顔で目が大きくて線が細くて声が高めだけど…普通だよ
それもう妖精の中でもイレギュラーなんじゃ…

第18話「やわらかいもの」

ザッ

!

おかえりなさい

タッ タッ タッ タッ タッ

ぴくっ

ざっと見渡しましたが
森の魔物が平原に出た形跡はありませんでした
ヨケグモの時見かけなかった魔物達は森の別区画に住処を移していたようです
その避難も一時的なもので
昨日討伐へ出た時には魔物の数も戻っていました

という事は森も平原も異常はないという事ね？

キクル君ありがとう…事後処理まで任せてしまってごめんなさい…

手元にある「新人が勝手にやりました」のカードでどこまで戦えるか・・・

ちょっ そのカード切るつもりですか!? やめましょうよ カッコよく締めたのに!!

きょろ
きょろ
それはね？
レスミスちゃんに手伝ってほしい作業があったからなの
おおっ
私を助手に選んで下さるとは！
エシュネちゃんに対する信用度での劣等感を拭えた気がします…っ
……
違う
「留守を任せる側」の信用度であなたはエシュネに負けたんだ…
行ってらっしゃい☆

この子達はモーロックスっていって

生まれた時から一生頭骨が成長し続ける魔物なの

モーロックス

今みたいに
骨が目を
覆った状態だと
危ないから
取り除いて
あげたいの

へぇ〜
コン
コン
こんな
岩みたいに
硬い骨
私に砕け
ますかね…

目の周りは
薄いから
こうして集中的に
叩いてあげれば…
カン
カン
カン
カン
ピシッ
ピシッ

ね？
おお〜
モ…

「モークックスの岩骨」は薬や装備品の材料にも使われるの
ゾォ～～♡
きゃっ!?
フニ
フニ
カラン
持ちつ持たれつの関係といったところかしら
ちょっ…もうっ
だ～めっ
ポム
ポム
あなたにはクッションを用意しているでしょうっ？
やっ
…!!

この子達……
全身が骨と
筋肉でゴツゴツ
してるからか…

くっ

あっ

柔らかいものが
新鮮で…
とても惹かれる
みたいなの…っ

くっ

ハァ

ハァ

二人とも
その点は…
注意
してね…？

…注意
してって…

何を

くそう…
!?
…俺だって…

俺だって柔らかいものが好きなのにっ…
あの牛…!
戦闘のプロも悲しいくらい男の子なんですね

モ゛…
めっ
あっ

あぁ…
あれは幼体のビビールです
びびーる？
隣は成体のブレイブル
気性は一転して雄々しくなります
モー
ビビール
ブレイブル

ビビール
ブレイブル
モーロックス
はい
「出世牛」って呼ばれてます
出世牛！
出世魚は知ってますが…出世牛…

レスミスちゃ〜ん…
そろそろ手伝ってもらえると嬉しいなぁー…
作業ができない…
モー♡
モー♡
モー♡
すみませんっ
というかエノメさんこの作業向かないんじゃ…

カン
コン
カン
コン

カン
カン
カン
カン

カンカン
カン
……

トキシッコちゃんから当時の話を聞いたけど…
普段のキクル君では考えられない程無茶をしたみたいね？

…いえ
させてしまったのよね…

……

奴の存在を知らされた時…真っ先に

「予兆はあった筈だ」と思いました

？

あんなでかい魔物すぐには現れない

新人達の面倒を見始めてから…俺は森の深部まで進まずいつも途中で引き返していました

さきへすすむ
▶まちへもどる

さきへすすむ
▶まちへもどる

ひたむき…戦闘不能
トキシッコ…戦闘不能（自滅）
キクル…意地の全弾回避

まちへもどる
▶まちへもどる

その結果奴の存在と成長を見逃した

でもそれはあいつらが負うべき責任じゃない
ましてやエノメさんでも…
俺の怠慢が招いた危機です
あの時俺は…
自分のミスを帳消しにしたかっただけですよ
……
キクル君を怠慢と言ってしまったら
世の中ほとんどの人が怠け者だわ…
……

・・・こういう側面！
こういう側面を維持できれば・・・
彼はとてもイケメンだと思う!!
俺だって柔らかいものがぁ〜く
ガツン!!
ふぎゅ!?
いったーいっ
ブギ!?

ブモ…
あっ…レスミスちゃんダメっ…
ブモッ
ブモォ
モォォォォォォ
ひぃぃいいぃ!!
この子達視界が塞がってた分聴覚が敏感で…
ドガッ
大きな音を聞くとパニックに…
きゃっ
エノメさん!

ご…ごめんなさい…
ブンッ
ブンッ
以後気を付け…
ドカッ
まっ！
ブモォォォォ
痛ぁい!!!
悪循環!!!

や…柔らかいものを与えれば落ち着くから…
ブルルッ
ブルルッ
んっ
ほら…クッション…胸じゃなくてっ…
こっちに…
ポム
ポム
……
もーっ
クッションこっち!
そりゃ目の前に極上のクッションがありますし…

ヴォー
！そんな…
どうして…
ヴォー
ヴォー
みんな集まってきちゃっ…
!?
あっ
だめっ
ぐいっ
ぐいっ
ずるっ
はうう

もうっ
返しなさ——
いっ!?
ぱむっ
だっ…だめよ離れてっ…あんっ
あなた達は…お利口な魔物さんでしょう…!?
びくっ
んっ
やっ
ハァ ハァ
ふに ふに
びくっ
むに むに
こんな事したら…め！あんっ

あぁ…細マッチョとまな板には目もくれず皆一様にエノメさんの柔らかいものへ…
あの老いぼれ共…！
ス…

人と歩める数少ない魔物なの…

ハッ

落ち着けば離れてくれる筈だから…

ハッ

んっ

あっ

じゃーん♪

私も爆乳女子になってみましたーっ

ばるるん

ばるるん

いや…バランス!!

ウエストどこ!!

ほれ ほれ〜

こっちにも 柔らか お姉さんが いますよ〜

ポヨ

ポヨ

ブモッ

ビクッ

ブルルルルルルッ

わっ!

ちょっ

まっ…

え!?

キクルさん これっ…

どーしま しょうっ!!

逆に聞くけど どういう 結果を想定 してたの…

でもナイスですレスミスさん！
初めてあなたに感心した気がします！
ひっひどい！
ていうか私のアレな姿は絵的にマズイとみやあああ
こ…こんな小さな子相手にっ…
よってたかって何を…んっ
やっ
じゅるっ
ちゅー
ちゃぷ
ちゅう
ひっ
ぱつーん
ぽんっ

ブルルルッ
ぼすんっ

ブルル…
ル…

しー…ん
…
!?

落ち着きを…
取り戻されたぁ!!!

えへへ
お昼休みだから遊びに来ちゃった♪
ママ達どこだろう…
あっあそこかもっ
がや がや
エノメさんケガは?
シャツが破けただけで…私は平気…
ハァ
ハァ
お…俺の服貸すんで着て下さい

皆で食べ…

ハァ
ハァ

ドサッ

掲載・月刊少年ガンガン 2018年7月号〜12月号

パパは一足先に…
食べ始めてたんだね？
お前のボキャブラリーどうなってんの!!?

不徳のギルド3 おわり

ガミガミ
私の方が呼ばれたのって…
エシュネちゃんは「柔らかいもの」をお持ちゆえに危険だったからじゃ……

未読のギルド

【続・完全燃焼】

～聖フェニザスク女学院 学生寮にて～

えっと…

今日はひたむきがクモの巣にかかっちゃって

ぐわん

わぷっ

それを助けようとしたら私も巻き込まれて…

…

逃れようとすればする程全身に絡みつく糸…
んっ
ふっ
密着する二人…
ぷに
ぷに
んっ
肌が擦れ合う度電流が走り
はっっ
ぴくっ
びくっ
あっ
互いが互いを刺激し合う永久機関ができあがる…
びくんっ
くにゅ
くちゅっ
にゃんっ

脱出の為に
衣服は
燃やされ
羞恥心に
打ちひしがれるも
体はお構いなしに
上り詰めて行き・・・
もう…
あんっ
はうっ
ぴくんっ
ぴくんっ
にちゅっ
何度目に
なるか
わからない
絶ちょ――・・・
・・・

本日も異常ナシ!

〜スタッフ〜

白樺 まさら

本田 一矢

高田 幸村

〜担当編集〜

野崎さん

つづく!▼

さぁ今回も時間感覚が狂うコーナーがやってまいりました。
次ページからは「ニコニコ静画」に掲載させていただいた
２巻の宣伝漫画を収録しております。
果たしてこのコーナーが実際の巻数に追いつく事はあるのか！
帳尻合わせはされるのか！

…されないみたいです！

それでは読者の皆様、２巻の宣伝漫画を読んだ後は
４巻の発売を楽しみにお待ち下さい！
今回もありがとうございました！

「2巻の宣伝は他の奴で」とか言われてたけドそうは問屋がトキシッコ！
2巻の宣伝部長も私ダ―――ッ！
悪夢再び……

読者の皆様コミックス1巻を手に取って頂きありがとうございましタ
おかげさまで今後も作品をお届けしていく事ができまス
…いやに真面目だな
やればできるじゃないか

と…
メインヒロインが皆を代表してお礼申し上げまス
謙虚さの方も持久力が課題……

2巻ではひたむき以外の子達も色んな姿を披露するのが特徴だナ
俺にとっては知らずにいたかった一面の数々…
あとは皆気にしてるであろう「海苔」の存在だけどド
ピッ
え？
安心して！
おい…嘘だろ
それはもう知ってるぞ……!?
お前まさかまた…っ
ハァ
ハァ…

ひたむきが磯辺焼きのコスプレに使ってくれたゾ！
きゃんっ たっ…タレをかけないで…
ひたむきおいしくないですぅぅ
トロー…
ビクッ
ビクンッ
情報の重複!!
ただ撮れ高の為だけに嬲られる!!!
磯辺焼きのコスプレって何だよ…！
2巻収録は第7話から第12話までデ！

健康診断とカ
特訓回とカ
料理回とカ…

今回ほんとファンタジー要素ゼロだナ
まあ元々そんなファンタジーしてないし…

そしてあとがき漫画ではメイデナが…

メイデナがぁ〜〜〜…？
……

この先はコミックスでお楽しみ下さイ

メイデナは訴えれば勝てると思う

めで…

不徳のギル

おまけページではレスミスさんが皆のスリーサイズを情報漏洩!

拘束された銀髪ロリが目印の第2巻をよろしク!

もっと購入しやすい表紙にはならんのか…

おわり▼

ちゅう
GC『不徳のギルド』第4巻も
ふとくのギルド
18
18
物を言う!!?
私の父は偉大だ

不凸凹徳感満載です!!
本来求めている
純粋な戦力として
考えれば…
ハナバタちゃんが
最有力候補のはず…
乳は口ほどに
全身色々と
主張が激しい
お嬢様の…
唯一
引っ込み思案な
部分に指が…!!!
▶2019年夏頃発売予定!!!

デジタル版　Ver.1.00

ガンガンコミックス

不徳のギルド 3

2019年 2 月22日 Ver.1.00発行

著　者　　河添太一

発行所
株式会社スクウェア・エニックス

カバー折り返し

河添太一

Taichi Kawazoe

人は「怒り」や「悲しみ」のきっかけは大体共通しているけれど、「笑い」のきっかけは多様であると著名な方が仰っていました。
自分はこれに加え「エロ」を感じる要素も十人十色ではないかと思います。
つまり「笑い」と「エロ」を同時に描くって、とても…とても難しい事なんですね！
…それでは「万人を満足させるのは土台無理」という予防線を張った所で、不徳のギルド3巻スタートです！

※コミックス発売時のカバー折り返しを収録

表紙 表

※コミックス発売時の表紙 表を収録

表紙 裏

※コミックス発売時の表紙 裏を収録

カバー裏

※コミックス発売時のカバー 裏を収録

Extra Contents おわり